浪江町 住民意向調査 報告書

平成 25 年 3 月

復 興 庁 県 張 江 町

Ι	調査の概要
1	. 調査目的
2	. 調査項目
3	. 調査対象
4	. 調査時期
5	. 調査方法
6	. 調査実施
7	. 回収結果······
8	. 回答者の属性······
	(1) 性別
	(2) 年齢
	(3) 職業(震災発生当時・現在)
	(4) 震災発生当時居住地区と居住年数
	(5) 世帯での立場(震災発生当時・現在)
9	. この報告書を読む際の注意点 ····································
Ü	
П	調査結果
1	世帯・家族の状況
	(1) 震災発生当時の世帯構成(現在世帯主・代表者)
	(2) 震災発生当時の住宅の所有形態と建て方(現在世帯主・代表者)
	(3) 震災発生当時、自己所有していた住宅の対処(現在世帯主・代表者)
	(4) 現在の世帯構成(現在世帯主・代表者)
	(5) 分散避難の状況(現在世帯主・代表者)
2	2 東日本大震災発生当時および震災前の状況
_	(1) 震災発生当時の職業
	(I) 成火儿上、コペリック相及未
3	3 現時点の状況
	(1) 現在避難している先の自治体
	(2) 現在の住居種別
	(3) 現在の職業
	1)現在の職業
	2) 震災発生当時の職業との違いと変わった理由
	3) 求職状況(無職者)
Δ	町外コミュニティについて
	(1) 町外コミュニティへの居住意向
	1) 居住意向
	1) 古生息円
	2) 町外コミュニティ移転までの期間
	(3)町外コミュニティとして居住したい(してもよい)自治体
	(4) 災害公営住宅の入居者
	(5) 災害公営住宅への入居単位

	(6) 町外コミュニティ移住に必要なもの	53
	(7)町外コミュニティに求めるもの	56
	(8)町外コミュニティに居住しない理由	58
	(9)避難期間中の生活	60
	1)今後の居住先	60
	2)転居予定先	62
	3)転居の予定時期	64
5	避難期間中の住まい	66
	(1) 現在の住居からの転居予定	66
	(2) 避難期間中に希望する住居形態	68
	(3) 同居予定の世帯家族人数	71
6	浪江町の復旧・復興	73
	(1) 【安心に関するもの】として取り組んで欲しい順	73
	(2) 【インフラ・生活に関するもの】として必要なもの	73
	(3) 浪江町への帰還意向	76
	(4) 帰還までの猶予年数	79
	(5) 帰還のための条件や必要な情報	80
	(6) 浪江町に帰還しない理由	82
	(7) 今後の生活において行政に望む支援	84
7	国・自治体への要望、復興に対する展望や気持ちについて	86
Ш	調査票(付:単純集計結果)	91